



日本现代文学
精品注释丛书

星新一短篇小说集

中国日语教学研究会推荐
〔日本〕星新一 著 崔昆 注释 胡振平 审校

日文版

译林出版社





日本现代文学
精品注释丛书

星新一
短篇
小说集

「日本」星新一 著 崔昆 注释 胡振平 审校

日文版

译林出版社



图书在版编目(CIP)数据

星新一短篇小说集／(日)星新一著；崔昆注释．—南京：译林出版社，2004.1

(日本现代文学精品注释丛书)

书名原文：「ようこそ地球さん」「ボツコちゃん」「未来いそつぶ」より抜粋

ISBN 7-80657-576-6

I. 星… II. ①星… ②崔… III. 短篇小说—日本—现代—日文 IV. I313.45

中国版本图书馆CIP数据核字(2003)第044599号

Copyright © 1998 by 星新一.

Japanese reprint rights in China arranged with Nihon Bungei Chosakuken Hogo Domei and Shinchosha Company through Japan UNI Agency, Inc., Tokyo

登记号 图字：13-2002-028号

书 名 星新一短篇小说集

作 者 [日本]星新一

注 释 崔 昆

审 校 胡振平

责任编辑 张远帆

原文出版 新潮社,1998

出版发行 译林出版社

电子信箱 yilin@yilin.com

网 址 <http://www.yilin.com>

地 址 南京湖南路47号(邮编210009)

集团地址 江苏出版集团(南京中央路165号210009)

集团网址 凤凰出版传媒网 <http://www.ppm.cn>

印 刷 南京通达彩印有限公司

开 本 850×1168毫米 1/32

印 张 11.5

插 页 2

版 次 2004年1月第1版 2004年1月第1次印刷

书 号 ISBN 7-80657-576-6/I·433

定 价 18.00元

译林版图书若有印装错误可向承印厂调换

前言

进入新世纪后,始于上世纪八十年代的『日语热』并没有降温,随着中日两国交流的增多,更多的国人投入到学习日语了解日本的行列中来。国内也引进和编写了相当数量的日语教科书、参考书和工具书,这都是我们这些从事日语教学多年的人乐于看到的。不过,同时我们也感到,相对于品种繁多的语法指导、单词手册之类,国内的日语阅读材料是明显比较薄弱的一环。有许多学生包括身边一些自学日语的朋友发出了『无书可读』的感慨。我们一直在思考怎样的日语读本才是最实用的,于是几经酝酿,精心编注,终于可以把眼前这套书奉献给广大读者。

这套由译林出版社出版的『日本现代文学精品注释丛书』,与以往的一些泛读教材和文学选读相比,最大的特点在于其完整性。过去我们编阅读材料,常常因为篇幅的限制和教学的需要,对一些长篇的作品只能节选,对一些难度大的作品要作部分改写。这样做,对于读者来说自然有难窥全貌之憾,于编者亦有割爱之痛。现在这套丛书全部是向日本购买版权,不作任何删改的原文出版,完完全全保留了作品的原貌。据我所知,如此成规模地引进日语原著在中国加入世界版权组织后还是首次,不能不说是日语学习者的一件幸事。

1 我们把这套书定名为『日本现代文学精品注释丛书』,是为了体现在编注中的几个基本出发点。首先,选取的都是『现代』作品,这些作品可以体现现代日语的面貌,提供给读者鲜活的语言。入选的作家也是以语言规范平实见长,是学习者容易模仿并值得模仿的对象。同时,所选作品均在日本现当代文

学史中有一定的地位，在国内也已经有了不小的知名度，是公认的非常好读的『文学精品』。题材虽不尽相同，但无论是散文游记、爱情小说还是悬疑小说，都能引人入胜。当然，这套书毕竟不同于一般的文学作品欣赏，主要是献给日语学习者的读物，它的实用性更多体现在『注释』上，每本书中对需要注意的生僻单词、语法现象和文化常识都做了较为精当的注释。对于日语程度较低的读者，可以扫除他们阅读中的障碍；对于有一定基础的读者，恐怕也有助于日语知识的巩固与提高。除了方便自学之外，这套书可以供老师们选取一些篇章作为泛读课的教材；考虑到入选作品多有中文译本，在教授翻译课程的时候也可作为参考书使用。

这套丛书是一个新的尝试，我们动了不少脑筋，花了不少力气，也一定会存在不少问题。希望大家能欢迎这个尝试，仔细阅读这些书，提出批评意见，帮助我们把这套书出好，并且继续下去。

中国日语教学研究会会长

胡振平

二〇〇三年六月

なぞの青年

都會のある一畫^①。そのあたりには住宅がぎっしりとたてこみ、住宅でないところは道路で、自動車^②がたえまなく走っていた。したがって、そのへんの子供は遊ぶ場所がなく、日當りの悪いせまい部屋^③のなかで、だまってテレビをぼんやり眺めていなければならなかった。そこへ、ひとりの青年が現われた。地味な服装で、おとなしく、まじめそうだった。彼は通りの窓^④ごしに、子供に話しかけた。

「このへんには、きみたちの遊び場はないのかい」

「うん、ないんだよ。鬼ごっことか、かくれんぼとか、ナワとびとかを、ぼくたちはだれもやったことがないんだよ」

「かわいそうに。小さな公園でも、作ってもらえばいいのに」

「おとなの人たちだって、そう考えているよ。だけど、お役所に交渉してみたが、だめなんだって。土地が高いし、そんなお金の出どころがないんだってさ」

① 一畫/一块(土地)。② ぎっしりとたてこみ/盖得密密麻麻。(副词ぎっしり表示装或挤得满满的,副词做连用修饰时须加と;自动词建て込む意为「房屋」盖得密。)③ たえまなく/不停地,不断地,没完没了地。(形容词絶え間ないの连用形做副词。)④ 日當りの悪い/不向阳的。(日當り一般指向阳、阳光照射的情况,有时也指向阳处,做前意时一般用日當りがよい/悪い的搭配。)⑤ そこへ/在这个时候。(そこ指代谈话中刚刚叙述的那个场面,与へ结合在一起作为连语,表示正在某个时候发生了新的情况,“这时、这当儿”。)⑥ おとなしく、まじめそうだった/看上去忠厚、老实。(まじめ在此非认真之意,而是指诚实、正派、正经、老实巴交等意。)⑦ 通りの窓ごしに/隔着马路的窗户。(接尾词ごし接在名词下,表示隔着该物[做某种动作]。)

子供はあきらめきっているようだった。それに対して、青年は言った。

「よし。ぼくが作ってあげよう」

「本當なの。みんな、どんなに喜ぶだろうな。でも、そんなことが起るのは、テレビのなかのお話の場合だけじゃないのかな」

「いや、本當だとも」

うそではなかった。青年はどこからお金を持ってきた土地を買い、地面をならし緑の木を植えた。ブランコや砂場もそなえつけ、安全設備もとのえた。そして、集ってきた子供たちと言った。

「これからは、ここはきみたちの世界だよ。いつまでも自由に遊べるんだよ」

「わあ、うれしい……」

子供たちは歓聲をあげ、日光をあびながら思いきりとびはね、かけまわった。ついてきたおとなたちも感謝した。

「なんという、ありがたいことでしよう。お名前をお教え下さい。それを公園の名前とし、いつまでも忘れないようにします」

しかし、青年は少しも得意そうな表情をせず、手を振って、ひかえめな口調で言った。

「名前など、どうでもいいことです。當り前のことをしただけですから。みなさんに喜んでいただければ、それでいいんですよ。お忘れになつて下さい」

だれかが寫眞をとろうとしたが、青年はいつのまにかいなくなっていた。みなは、奇跡をおこす魔法使いじゃないかななどと、話しあうのだった。

また、その青年は、身寄りのない老人のところへ現われたこともあった。

老人の一生は、働きつづけた。若い時はよく働き貯金もできたのだが、それは物価の変

① あきらめきっている/完全死心了。(接尾词きる接在无意志动词后时表示状态达到极限, 完全成为那种状态。)

② ぼくが作ってあげよう/我来给你们建一个。(第一人称が~よう/ましょう表示主动承担做某事, 我来……。)

③ 本當だとも/一定是真的。(终助词とも表示断然或肯定, “当然”。)

④ 思いきりとびはね、かけまわった/尽情跳跃、奔跑。(副词思いきり意为尽量地、尽情地、痛快地、彻底地; 駆け回る意为到处跑; 接尾词回る接在某些动词连用形下表示在一定范围内移动。)

⑤ 身寄りのない/无依无靠。(身寄り意为亲戚、亲属, 用法较陈旧。)

動で消えてしまった。^①としをとった今では、食べてゆくだけがやっと、もうからだも弱っている。「生きているあいだに、一回でいいから、ゆつくりと旅行をしたいものだ。しかし、それもむりな望みだな」

と悲しげに言いながら暮していた。そこへやってきた青年は、こう話しかけた。

「はい、これが旅行周遊券の切符のつづりです。こっちは、予約旅館の前払いをしたという領収書。これは、こづかいのお金です。お好きなように、楽しんでいらつしやい」

當然のことながら、老人は信じかねるという表情だった。

「からかつていらつしやるのでは、ないようだ。ありがたいことです。しかし、見知らぬあなたから、そのようなものをいただく筋合いは、ありません」

「とおっしゃっても、もう取り消すわけにはいきません。こうお考えになったら、どうでしょう。一生をまじめに働いたあなたには、せめて、それぐらいのことはなさる権利があるはずです」

老人は、涙ぐみながら喜んだ。

「そうですか。では、お言葉に甘えさせていただきますましょう。ああ、夢のようだ。これで、思い残すことなく死ねます。あなたは、現代のキリストのようなおかただ……」

「とんでもありません。ただの平凡な人間ですよ。なすべきことを、したまでのことです。では、いいご旅行を……」

青年は、老人のくどい感謝の言葉がはじまる前に、静かに帰っていった。

そのほか、その青年はいろいろなところに現われた。

交通事故で死んだ人の遺族の家に現われ、お金を渡したこともあった。ひき逃げされたので、訴訟を起して金の請求をしようにも相手がわからず、生活に困っていた人たちだ。

① としをとった今では、食べてゆくだけがやっと/現在上了年纪，仅能勉强维持生活，身体也很衰弱。（今では表示以现在为中心的时间段里，某种事物已由原来的状态变成了现在的另一种状态，では、表示动作、作用进行的时期，此用法只限于今では、現在では、近頃では等；这里的食べる用的是其引申义，“以……维持生活、生活”，作此义用时，一般采用[で]「食べている/いく」的形式；やっと做谓语时常用-がやっとだ的形式，意为“勉强勉强……”，此处省略了了。）② お好きなように/随便，想……就……地。（好き表示[不考虑得失地]任意，后接ように时与勝手に意思相同。）③ では、お言葉に甘えさせていただきます/那我就遵命了。（お言葉に甘えて是个惯用表达，意为既然您那么说我就恭敬不如从命了；[き]させていただきます意为请允许我……。）

海外に流出する寸前の、古い美術品を買い戻し、博物館に寄付して、だまって帰っていったこともある。崩れかけ、早く手を打たないとだめになってしまう遺跡の、修理代を出したこともある。資金がゆきづまり、閉鎖する以外に方法のなくなった保育所や恵まれぬ人の施設に、そつと金を置いていったこともある。このたぐいのことは、あげればいくらでもある。

青年の訪問を受けた人たちは、心からありがたがると同時に、あの人はどんな家のかたなのだろうと考える。大金持ちのお子さんなのだろうか。それとも……。

その先は考えつかない。自分のことには金を使おうとせず、世の中のためにつくしている。えらい人だ。それにしても、よくお金がつづくものだ。

しかし、いつまでもつづくというわけには、いかなかった。やがて、その行為も終る時が来た。最初に気がついたのはその青年の上役、すなわち税務署長だった。彼は青年を呼びつけて言った。

「おい、きみ。きみをまじめな青年と信用し、金銭を扱う重要な地位につけた。それなのに、それを裏切り、気の遠くなるような額の使い込みをやった。なんとということだ。いったい、どんなことに使ったのだ」

「じつは……」

青年は正直に答えた。署長はあきれて大聲をあげた。

「けしからん、税金とは善良な國民が、政府を信頼して納めたものだ。それを議會にも官庁にも無斷で、勝手にそんなばかげたことに使うとは……」

「いけませんでしたか」

「當り前だ。おまえは頭がおかしくなっているんだ」

「わたしが異常で、ほかの議員や公務員たちは、みな正氣だとおっしゃるのですか」

① 崩れかけ、早く手を打たないとだめになってしまう/要倒塌的如果尽早采取措施就完了的。(接尾词かける接在动词连用形下可表示动作就要[即将]发生,其过去式-かけた表示实际该动作或事情没有实现;惯用句手を打つ意为采取措施[对策]。)

② 恵まれぬ人/不幸的人、与幸运无缘的人。(恵まれる意思有二,一指所需的東西充足,处于感觉不到不滿的状态之中,此时一般用恵まれぬ、恵まれた做定语,另一意思指被賜予或适逢好的状态,此时一般用-に恵まれる的形式做谓语。)

③ お子さん/公子。(尊敬地称呼他人的孩子时的用語。)

④ けしからん/豈有此理。(连语,可做定语,“不像話、无耻下流、粗暴”。)

しかし、署長は、そんなことに答えるところではなかった。この不祥事の、処理をしなけれ
ばならない。関係者は表ざたにするのをいやがり、むりやり青年を異常者にして、病院に
送りこんでしまった。

テラックスな銃^①

若い時の道楽^②はたかが知れているが、中年をすぎてからの道楽となると、手におえないそう
だ。どうやら、私の場合にも、このことがあてはまるらしい。

なにしろ、この銃を作るために、十五年もつとめた會社をやめ、住んでいた家は抵當に入
れ、^③そのあげく、ついにひと手に渡してしまったのだ。もちろん、妻はそんな私にあいそをつ
かし、逃げ出していった。

しかし、私はこうなにもかも失っても、少しも後悔などしていない。いまや、ここに世界一
すばらしい銃を完成し、そして、持っていていられるのだから。命^④から二番目に大切という言葉
が、正確にあてはまる。

銃といっても、そのへんの若者たちが、とくいになって振りまわすようなものと、同一視さ
れては困る。だいたい、比較すべきものでもないだろう。

たとえば、タクシー用の自動車と、英國王室で使う自動車とのちがい。いや、それ以

① テラックス/ [法de luxe] 高級、豪華。(形容动词) ② 道楽/业余爱好，嗜好。(也指吃喝嫖赌、放蕩、不务正业。) ③ そのあげく、ついにひと手に渡してしまったのだ/其结果，终于变卖给别人。(あげく一般以……のあげく或动词连用形たあげく表示经过种种波折之后其结果如何如何，也做あげくが或あげくに，多用于不好的方面，“结果”；副词ついに表示终于，直到最后，与ついは两个不同的词；入手に渡す意为变卖给外人。) ④ 命から二番目に大切/仅次于生命的宝贵东西。(惯用句，指非常珍贵的东西。)

上、池のボートと豪華なヨットぐらいの差はある。

① こんな銃だからこそ、私はすべてを失っても平気でいられるのだ。いまは、家具つきのアパートに住んでいる。家をも失っているのだから、當然だ。

ドアにノックの音がした。

「おはいり」

と答えると、アパートの管理人がはいってきた。そして、面白くない表情を作り、

「じつは、部屋代がたまっておりませんが、お払い願えませんか」

と、切り出してきた。私はそれには答えず、おもむろに、愛用の銃をとりあげた。大型の、ズシリと重みのある銃は、窓からさし込む午後の日さしを受けて、まばゆい黄金色にきらめいた。

もちろん、ここでぶつばなすつもりはない。私は銃を右のひとさし指にひっかけ、引金のそばにある第一ボタンを、そっと押した

すると、なかにしかけてあるモーターによって、銃はくるくると回転をはじめた。管理人のやつは、目を丸くして、それを見つめた。私が、よほどの銃の名手に見えたにちがいない。もうよろう。ふたたび、さっきのボタンに触れると、回転はとまった。

「すばらしいお腕前のように……」

やつは、びくびくしながら、なにか言わないといけないと思っただ、こう話しかけてきた。

「腕前より、この銃もほめてほしいね」

やつは、⑤「こわごわのぞき込んだ」。

「金びかで、ほんとに豪華なものですな。ところで、⑥ここにタクシーか電気のメーターのようなものがついていますが、これはなんでしょうか」

① こんな銃だからこそ/正因为这样一把枪。(からこそ强调惟一的原因, 句末总与のだ呼应应用。) ② おはいり/进! (お+动词连用形はお+なさい的省略形式, 语气比后者随便, 大多是老年妇女上对下使用。) ③ ぶつばなす/射, 发射。(俗语) ④ よよろう/好了。(よよい的未然形よから接表示推断的う, 与よいだろう意思相同, 较生硬, 口语里年轻人几乎不用。) ⑤ こわごわのぞき込んだ/提心吊胆地弯腰看。(こわごわ意为小心翼翼、战战兢兢、担心害怕等; 覗き込む意为弯腰看。) ⑥ ここにタクシーか電気のメーターのようものがついています/这有一个像电表或出租车计价器的东西。(タクシー[taxi]意为出租车; 副助词か表示并列, 此处并列タクシー和電気; メーター[meter]指计量用水或用电等的自动计量仪表、出租车计价器。)

「これか。これは引金をひくたびに、この数字が一つずつふえる。つまり、現在までに何発うったかが、わかる装置だ」

「ははあ、五六〇発うっているわけですね。それでは、そのそばの二五とでているほうのメーターは、なんの数字ですか」

これは、ちょっと答えにくい。じつは、いままでに殺した人数を記録している数字なのだから。そこで、こうごまかしておく。

「いや、これはね。あれと同じさ。その、日付のでる時計があるだろう。きょうは二十五日というのが、これでわかるのさ」

「まさに、精巧なものですな。それなら、いっそ、ここまできふうなされたのですから、曜日まで出るようにすれば、よかったですように」

「それは、いい意見だ。いずれ、そう改造しよう。そうすれば、日曜日と気づかずに人を殺すことも、なくなるわけだ」

「殺すという言葉に驚いてか、やつはふるえながら、
「珍しい物を見せていただいて、目の保養になりました。では、失禮……」

と、そそくさと帰ろうとした。それを呼びとめる。

「まあ、待ちなさい」

「は、はい。なんでございますか」

「部屋代を取りにきたのだから」

「は、そのつもりでございましたが」

払わなくてもけっこうらしいが、私は下宿代をふみ倒すような、けちなことなどしない。
「払うよ。このアパートにもあきたし、そちらだって、わたしにいられては、気持ちが悪か

① そこで、こうごまかしておく／于是，就暂且这样搪塞他。（接续词そこで与すると不同，前者用于为了应付某场面而产生的意志性行为，或叙述某种结果自然而然归结的状态，即包含するとの用法；ごまかす意为欺骗、糊弄、搪塞、敷衍等；故放体ておく在此表示为了应付一时而采取临时措施，与一般用法不同。）② 目の保養になりました／有我在这儿，你们大概也不得劲儿吧。（そちら这里用作第二人称代词；いられる是受害被动，即该动作对主语来说是麻烦的、不利的；ては为表示顺接假定或确定条件的接续助词，接在连用形下，一般后续消极否定事项，“如果……、……的话”。）③ 下宿代をふみ倒す／赖掉公寓费。（ふみ倒す意为赖掉不给、欠账不还、赖账。）④ そちらだって、わたしにいられては、気持ちが悪か

ろう。みんな払って、ここを出ることにする」

あり金を集めた。さいわいにも、部屋代はそれで足りた。

「では、さよなら」

「お荷物は……」

「この銃だけで、ほかには、なにもない」

私は銃を服の内ポケットに入れながら、

「きようは雨の心配もなさそうだし」

と、つぶやいて部屋を出る。

銃のにぎりの左側にある、この目盛が晴雨計だ。そのそばのは、温度計。発射の時の衝撃でこわれない温度計を作るのには、苦心した。その下の丸いのは、道に迷った時に役立つ磁針だ。

もつとも、考えてみれば、晴雨計はそれほど必要でなかった。磁針のそばの小さな穴にイヤホーンをさしこめば、いつでもラジオで、天気予報を聞くことができるのだから。

アパートを出た私は、イヤホーンを耳に入れた。聞こえてくる音楽のリズムは、歩調を軽快にしてくれる。だが、^③ そうのんきにもかまえていられない。財布には、もはや金がないのだ。なんとかして、かせがなければならぬ。

道ばたにある公衆電話のボックスが目にとまったので、それにはいった。だが、電話をかけるためではない。第一、その金もないではないか。私はボックスのなかで、そつと内ポケットから銃を出し、第二ボタンを押した。それに応じて、にぎりの先にすつと出るのが萬能力ギ。これを使えば料金箱など、すぐに開く。ひろげたハンカチの上に、さらさらと貨幣がでてきた。意外に多い。ひとつ、これを元手に馬券でも買うとするか。

① 内ポケット/里兜，里边的衣袋[-pocket]。 ② イヤホーンをさしこめば/塞入耳机。(イヤホーン意为耳机[earphone]。) ③ そうのんきにもかまえていられない/也不能那样不慌不忙。(此时的構える表示采取某种态度，此种场合虽是他动词，但却不用を格名词做宾语，而多是用形容动词等做连用修饰语；动词连用形ていられない表示主体心情上无法控制、不能再保持原来的某种状态，“不能……”。)

私は貨幣の山を、ハンカチに包んでポケットに入れた。一枚は残して電話機へ。そして、ダイヤルを回した。^①もぐりで馬券の取次ぎをやっているやつの事務所だ。しかし、受話器はいくら待っても、単調な呼出音をつづけるばかり。

はあ、留守だな。留守^②とは、さらに好つごう。これからすぐに、おじやまするか。思ったことは、すぐに実行。私は暮れかけた夜の街にタクシーをとばし、その事務所のあるビルにむかった。

ふたたび第二ボタンを押し、萬能カギを使ってドアをあけた。なかままったく、だれもいないにちがいない。第三ボタンを押すと、銃口の横でライトがつく。その光のスポットで部屋をなでると、大きな金庫が浮かび上った。

これこれ。このなかのもののさえいただければ、留守でも、いっこうにさしつかえない。金庫に近づき、銃をむける。第四ボタンを押すと、銃身の下からドリルが伸び出し、ダイヤルの中心に穴をあけはじめる。鉄くずがとび散り、ついに穴があいた。つぎに、この穴に第三ボタンで萬能カギをさしこめばいい。

たちまちにして、金庫は開いた。すごい札束^③、それをあらゆるポケットに押しこんだので、私はめつきりふとった。こう金を身につけると、なんともいえぬ、いい気持ちだ。ポケットを上から手でたたき、ひとり悦にいつていた。

その時。ドアの開く音がして、電燈がぱつとついた。

「や、泥棒」

自分のひとりが、もどってきたのだ。それにしても、泥棒^⑤とは、なにことだ。この金だって、ひとから泥棒同然に巻きあげた金ではないか。

しかし、そんな理屈を考えている場合ではない。すでに顔を見られたし、やつはポケットに

① もぐりで馬券の取次ぎをやっている/非法代购马券。(もぐり意为非法活动、没有牌照私自营业及那种人;取次ぎ意为代买、代办。)

② 留守とは、さらに好つごう/不在家,那就更好了。(とは表示提示主题,多用于这样的场合:引用或反问前面已出现的语句,或虽不是原封不动地引用但用另外一种说法归纳前文,以此确认其真正意图,或叙述说话人的评价,多含吃惊、感叹、愤怒等语气。)

③ 札束/钞票捆儿。

④ ひとりで悦にいつていた/心中暗喜,暗暗得意。(慣用表达:いつてはいる[入る]连用形接て构成。)

⑤ 泥棒とは、なにことだ/你说谁是小偷,什么小偷?(慣用句表达[Nとは]なにことだ表示说话人认为N是不可以有、不该发生、不可以存在的,以此责难对方的行为。)

手を入れ、銃をひきぬきかけている。もはや、一刻の猶予もならぬ。

やにわに銃をむけて、引金をひく。かすかな音とともに、弾丸は発射され、それはやつの胸をつらぬいた。もちろん、つらぬくはずだ。

この銃には小型レーダーが装置してあるのだから。どんな最新式のカメラにもまだついていない、私の自慢の装置だ。もつとも、これがついていなかったら、銃そのものの価値は、ほかのと大差ないことになる。

やつは、崩れるように床に倒れた。同時に、引金に連動してあるオルゴールが、静かに悲しみにみちたメロディーを奏ではじめた。曲はいうまでもなく、葬送行進曲。私はしばし目を閉じ、やつの冥福を祈ってやった。

しかし、これがいけなかった。

「おい、動くな」

と、耳もとで低い聲。はっと思つて目をあげると、いつのまに來たのか、そばにもう一人の男が立っていた。こいつも、子分の一人にちがいない。そして、私の背中に當てられているのは、ナイフらしい。

「さあ、銃をこっちに渡せ」

こうなつては、どうにも仕方がない。この銃がどんなに大事といつても、やはり命にくらべたら二番目だ。泣くような思いで、ついにそれを手渡した。やつはそれを受けとり、その銃を私につきつけながら言った。

「さあ、つぎにはポケットの金を、みんな出すんだ」

「その銃をとりあげてしまつたうえに、金まで返せというんですか。それは、あまりにひどいでしょ」

① 銃をひきぬきかけている/就要拔出手枪了。(表示动作就要发生的接尾词かける接ている的かけている也表示就要发生之前的状态[实际并未发生]。)

② これがついていなかったら、銃そのものの価値は、ほかのと大差ないことになる/如果没有这个东西，枪本身的价值跟别的就没有多大差别了。(そのもの接在体言或形容词动词词干后，表示并非其他的东西，正是前接名词、形容词词本身如何如何，具有强调的语气或区别于其他事物等表达效果；由于前面已经出现中心词銃，所以ほかの后省略了中心词；大差ない意为差不多。)

③ オルゴール[荷orgel]/大音盆。

④ しばし/不久，片刻。(文语说法，意思同じばらく。)

⑤ 出すんだ/交出来。(んだ即のだ，动词连体形のだ可以表示命令，常含有叮咛、嘱咐语气，这种表示命令的のだ一般不用敬体。)

「なにを、勝手なことを言う。早く出せ。逃げたりすると、引金をひくぜ」
 それを聞いて、私はドアめがけて勢いよくかけ出した。うしろで、たちまち轟音がおこっ
 た。おこるはずだ。銃を渡す時に第五ボタンを押しておいたので、引金^②がひかれるやいなや、
 銃が爆発して、持っている者を吹き飛ばすというしかけなのだ。

① 私はドアめがけて勢いよくかけ出した/我猛地朝着门跑了出去。(「～[を]めがけて表示以……为目标、朝着……，对象一般不能是时间以及抽象事物，即多是具体的人、物或场所；勢いよく做副词用，意为强有力地、势头猛地。)

② 引金がひかれるやいな、銃が爆発して/一拉枪机，枪就爆炸。(惯用型动词连体形+やいなや表示前项和后项几乎同时发生，一般描写现实已发生的事实，书面语。)

③ 吹き飛ばす/炸飞。(原意指吹跑。)